

大学番号：私371

注3

[平成24年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

四天王寺大学 人文社会学部 国際キャリア学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 四天王寺学園
平成26年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	総務課
職名・氏名	主任 小川 裕史
電話番号	072-956-9913
（夜間）	072-956-3181
F A X	072-956-9940
e-mail	h-ogawa@shitennoji.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部(平成◇◇年度より変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成26年3月20日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学 校 法 人 四 天 王 寺 学 園

(2) 大学名

四 天 王 寺 大 学

(3) 大学の位置

〒583-8501
大阪府羽曳野市学園前三丁目2番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(モリタ シュンロウ) 森田 俊朗 (平成17年4月)	(タキトウ ソンジュン) 瀧藤 尊淳 (平成25年4月)	任期満了による変更(25)
学 長	(ウスイ ミネオ) 碓井 岑夫 (平成20年4月)	(ニシオカ ソシュウ) 西岡 祖秀 (平成24年4月)	任期満了による変更(24)
学 部 長	(ミナミタニ ミホ) 南谷 美保 (平成20年4月)		
学 科 長 等	(オカザキ ケイジ) 岡崎 桂二 (平成24年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成24年度に報告済の内容 → (24)

平成26年度に報告する内容 → (26)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成23年度開設の4年制の学科の場合(平成26年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
人文社会学部 国際キャリア 学科 学士(人文社会学)	4年	90人	3年次 5人	370人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人	人	90人	—人	90人	—人	90人	—人	90人	—人	1.11倍	
	()	()	(5)	()	(5)	()	(5)	()	()	()		
	[]	[]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]		
志願者数	()	()	281	—	342	—	277	—	(3)	(—)		
	[]	[]	[0]	[—]	[0]	[—]	[0]	[—]	[0]	[—]		
受験者数	()	()	264	—	331	—	262	—	(3)	(—)		
	[]	[]	[0]	[—]	[0]	[—]	[0]	[—]	[0]	[—]		
合格者数	()	()	246	—	268	—	242	—	(3)	(—)		
	[]	[]	[0]	[—]	[0]	[—]	[0]	[—]	[0]	[—]		
B 入学者数	()	()	83	—	119	—	99	—	(3)	(—)		
	[]	[]	[0]	[—]	[0]	[—]	[0]	[—]	[0]	[—]		
入学定員超過率 B/A			0.92		1.32		1.10					

- (注) ・ 数字は, 平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] —	[-] —	[-] 83	[-] 0	[-] 119	[-] 0	[-] 100	[-] 0	平成26年度入学者数は99名であるが、平成25年度入学者の内1名が休学しており、平成26年度1名増となった。 (26)
2年次	/		[-] —	[-] —	[-] 75	[-] 0	[-] 110	[-] 0	
3年次	/		/		[-] —	[-] —	[-] 70	[-] 0	
4年次	/		/		/		[-] —	[-] —	
計	[-]		[-] 83		[-] 194		[-] 280		

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成23年度 入学者	人	0人	平成23年度	人	人		%
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
平成24年度 入学者	83人	16人	平成24年度	7人	0人	家庭の事情3名、専門学校への入学1名、就職1名、 経済的理由1名、勉学意欲の喪失1名	19.3%
			平成25年度	7人	0人	除籍3名、家庭の事情1名、健康上の理由1名、 留学1名、結婚1名	
			平成26年度	2人	0人	除籍2名	
平成25年度 入学者	119人	8人	平成25年度	8人	0人	経済的理由2名、転出2名、勉学意欲の喪失1名、 除籍1名、その他2名	6.7%
			平成26年度	0人	0人		
平成26年度 入学者	99人	0人	平成26年度	0人	0人		0.0%
合計	301人	24人					8.0%

(注)・数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成26年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<人文社会学部 国際キャリア学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎教育科目	仏教Ⅰ(瞑想)	1前	1								兼 4		
	仏教Ⅱ(写経)	1後	1								兼 4		
	仏教概説	1前・後	2								兼 4		
	現代社会と人権	1前・後	2								兼 4		
共通教育科目 教養(基礎)	仏教実践演習	2・3前・後		2							兼 3		
	聖徳太子概説	2・3前・後		2							兼 3		
	現代社会と仏教	2・3前		2							兼 1		
		2・3前・後		2							兼 2	履修人数の関係上クラス数減に伴い、担当者を調整(26)	
	仏教文化研究	2・3後		(注1)							兼 1	学生の学習効果を高める理由により、配当学期を変更(25)	
		2・3前・後		2		3					兼 1	題目科目として単位数を表外に記載(24)	
						2	0					兼 2	教育課程の充実を図るため担当者を変更(26)
	大学基礎演習Ⅰ	1前	2			3	2		1			兼 2	教育課程の充実を図るため担当者を変更(25)
	大学基礎演習Ⅱ	1後	2			2	1					兼 2	教育課程の充実を図るため専任教授の追加(24)
		1後										兼 4	教育課程の充実を図るため担当者を変更(26)
文章表現基礎	1前・後		2								兼 5	学生の学習効果を高める理由により、配当学期を変更(25)	
実践文書作成	2・3前		2								兼 6	教育課程の充実を図るため担当者を追加(26)	
共通教育科目 教養(一般)	日本国憲法	1前・後		2							兼 2		
		1前・後		2							兼 3	教育課程の充実を図るため担当者を変更(26)	
	法学(国際法を含む)	1前		2							兼 2	学生の過剰な履修を防ぎ、学習効果を高める理由により、配当学期を変更(24)	
		1・2・3前		2							兼 1	学生の学習効果を高める理由により、配当学期を変更(26)	
		1・2・3後		2							兼 1	学生の学習効果を高める理由により、配当学期を変更(24)	
	政治学	1・2・3前		2							兼 2		
	経済学	1・2前・後		2							兼 3	教育課程の充実を図るため担当者を変更(26)	
	社会学	1・2・3前		2							兼 1		
											兼 4		
	心理学Ⅰ	1・2・3前		2							兼 3	教育課程の充実を図るため担当者を追加(26)	
											兼 4		
	心理学Ⅱ	1・2・3後		2							兼 3	教育課程の充実を図るため担当者を追加(26)	
		1・2・3前・後		2							兼 2	学生の学習効果を高める理由により、配当学期を変更(24)	
	哲学	1・2・3前		2							兼 8		
	スポーツⅠ	1・2・3前		1							兼 6	教育課程の充実を図るため担当者を追加(26)	
										兼 8			
スポーツⅡ	1・2・3後		1							兼 7	教育課程の充実を図るため担当者を追加(26)		
体育講義	1・2後		2							兼 1	保育士資格指定科目のため履修不可(24)		
	1・2・3・4前・後		(注1)							兼 11	学生の学習効果を高める理由により、配当年次変更および担当者追加(26)		
共通教育研究	1・2・3前・後		2							兼 4	題目科目として単位数を表外に記載(24)		
			(注2)										
単位互換科目	1・2・3前・後		(注1)								(注)の付番変更(24)		
知識・技能研究Ⅰ	1・2・3・4前・後		2								(注3)		
知識・技能研究Ⅱ	1・2・3・4前・後		2								(注2)-(注)の付番変更(24)		

共通教育科目 教養（情報と数理）	情報処理演習Ⅰ	1前・後	2						兼 2	※1 教育課程の充実を図るため担当者を変更(26) 題目科目として単位数を表外に記載(24) 学生の学習効果を高める理由により、配当学期を変更(25) 教育課程の充実を図るため担当者を変更(26) 教育課程の充実を図るため担当者を変更(26) ※2 教育課程の充実を図るため担当者を変更(26) 集中,オニバス 学生の学習効果を高める理由により、配当年次を変更(24)
	情報処理演習Ⅱ	1前・後	2 (注1)						兼 1	
	情報処理演習応用	2・3前・後	2						兼 3	
	数学演習Ⅰ	1前・後	2						兼 4	
	数学演習Ⅱ	1前・後	2						兼 3	
	生命の科学	1・2前・後	2						兼 3	
	環境の科学	1・2前・後	2						兼 2	
	化学の世界	1・2前・後	2						兼 3	
	物理の世界	1・2前・後	2						兼 2	
	地球と宇宙	1・2前・後	2						兼 2	
共通教育科目 外国語（英語）	英語Ⅰ	1前	※						※3	
	英語Ⅱ	1後								
	英語Ⅲ	2前								
	英語Ⅳ	2後								
共通教育科目 外国語（第二外国語）	ドイツ語Ⅰ	1前	1						兼 5	教育課程の充実を図るため担当者を変更(26) 教育課程の充実を図るため担当者を変更(26) 教育課程の充実を図るため担当者を変更(26) 教育課程の充実を図るため担当者を変更(26) 教育課程の充実を図るため担当者を変更(26) 教育課程の充実を図るため担当者を変更(26) 教育課程の充実を図るため担当者を変更(26) 教育課程の充実を図るため担当者を変更(26) ※4 教育課程の充実を図るため担当者を変更(26) 教育課程の充実を図るため担当者を変更(26) 教育課程の充実を図るため担当者を変更(26) 教育課程の充実を図るため担当者を変更(26)
	ドイツ語Ⅱ	1後	1						兼 5	
	ドイツ語Ⅲ	2前	1						兼 5	
	ドイツ語Ⅳ	2後	1						兼 5	
	フランス語Ⅰ	1前	1						兼 7	
	フランス語Ⅱ	1後	1						兼 7	
	フランス語Ⅲ	2前	1						兼 8	
	フランス語Ⅳ	2後	1						兼 8	
	中国語Ⅰ	1前	1						兼 8	
	中国語Ⅱ	1後	1						兼 8	
	中国語Ⅲ	2前	1						兼 6	
	中国語Ⅳ	2後	1						兼 6	
	日本語Ⅰ	1前	1						兼 2	
	日本語Ⅱ	1後	1						兼 1	
日本語Ⅲ	2前	1						兼 1		
日本語Ⅳ	2後	1						兼 1		
共通教育科目 キャリア教育	キャリア形成	1・2・3前・後	2	(注1)					兼 15	教育課程の充実を図るため担当者を変更(26) 題目科目として単位数を表外に記載(24) 教育課程の充実を図るため担当者を変更(26) 学生の学習効果を高める理由により、開講学期を変更(26) 学生の学習効果を高める理由により、開講学期を変更(25) 集中 レクリエーション・インストラクター資格科目のため履修不可(24) 海外留学を推奨し単位認定するため(24)
	社会福祉概論	1・2・3前・後	2						兼 10	
	社会福祉行政	1・2・3前・後	2						兼 2	
	児童福祉論	2・3・4前・後	2						兼 1	
	老人福祉論	1・2・3前・後	2						兼 3	
	障害者福祉	1・2・3前・後	2						兼 2	
	レクリエーション論	1・2・3前・後	2						兼 1	
	国内実地研修	1・2・3・4前・後	(注3)						兼 1	
	海外実地研修	1・2・3・4前・後	(注4)						兼 1	
	海外語学研修	1・2・3・4前・後	(注6)						兼 1	

学科 共通 領域	英語圏文化概説	1前		2						兼	1	
	アジア文化概説	1後		2		1				兼	1	
	世界体験入門	1前		2						兼	1	
	国際関係論	2前	2			0				0	専任教員採用により担当者変更(26)	
	国際経済学	2後		2		4		1		兼	4	里見教授退職に伴い、担当者変更(25)
	貿易理論	3前		2				1		兼	1	
	英米文化論	3前		2		1					0	
	中国文化論	3前		2		1					4	
	異文化理解	3後		2							4	担当者の職位変更(24)
	英文法 I	1前	2			4				兼	1	
	英文法 II	1後	2			4				兼	1	教育課程の充実を図るため専任教授を追加(25)
	Extensive Reading初級 I	1前	2			1	1			兼	2	
	Extensive Reading初級 II	1後	2			1	1			兼	2	
	Extensive Reading中級 I	2前	2			1	1			兼	1	
	Extensive Reading中級 II	2後	2			1	1			兼	1	
	ペーシックコミュニケーション I	1前	2			1	1	2		兼	2	
	ペーシックコミュニケーション II	1前	2			1	4			兼	1	教育課程の充実を図るため専任准教授に担当者を変更(25)
	ペーシックコミュニケーション III	1後	2			1	1	2		兼	2	
	ペーシックコミュニケーション IV	1後	2			1	4			兼	1	教育課程の充実を図るため専任准教授に担当者を変更(25)
	ペーシックコミュニケーション V	2前	2			1	1	2		兼	2	
ペーシックコミュニケーション VI	2前	2			1	4			兼	1	教育課程の充実を図るため専任准教授に担当者を変更(25)	
ペーシックコミュニケーション VII	2後	2			1	2	1		兼	1		
ペーシックコミュニケーション VIII	2後	2			1	2			兼	2	教育効果の充実を図るため担当者を変更(25)	
キャリア英語入門 I	1前	2			1	3	1	1	兼	1	赤松教授退職・専任教員採用により担当者変更(26)	
キャリア英語入門 II	1後	2			1	3	1	1	兼	1	赤松教授退職・専任教員採用により担当者変更(26)	
学科 共通 領域	中国語会話 I	2前		2		1						
	中国語会話 II	2後		2		1						
	国際キャリア演習	2・3・4前・後		2		4	1			兼	1	里見教授退職により変更。 平成25年度中に新たに採用予定。(25)
	英語圏文学概説	1後 4前		2		0				兼	1	赤松教授退職により担当者を変更(26) 学生の学習効果を高める理由により、開講学期を変更(26)
	英米文学史	1後		2		4				兼	1	赤松教授退職により担当者を変更(26)
	英語教育概説	1後		2				1				
	実践英語音声学	1後		2		1						
	英語学概説	2前		2				1				
	英語学	2後		2		1						
	英国史	3後		2								
	米国史	3後		2		1						
	言語学概論	3後		2		1						
	専門演習 I	3前	2			6	2	4	1			専任教員採用により担当者変更(26) 里見教授退職により変更。 平成25年度中に新たに採用予定。(25) 教授人数の誤りにより訂正(24) 担当者の職位変更(24)
	専門演習 II	3後	2			6	2	4	1			専任教員採用により担当者変更(26) 里見教授退職により変更。 平成25年度中に新たに採用予定。(25) 教授人数の誤りにより訂正(24) 担当者の職位変更(24)
	専門演習 III	4前	2			6	2	4	0			里見教授退職により変更。 平成25年度中に新たに採用予定。(25) 教授人数の誤りにより訂正(24) 担当者の職位変更(24)
	専門演習 IV	4後	2			6	2	4	0			里見教授退職により変更。 平成25年度中に新たに採用予定。(25) 教授人数の誤りにより訂正(24) 担当者の職位変更(24)
	卒業研究	4後	4			6	2	4	0			里見教授退職により変更。 平成25年度中に新たに採用予定。(25) 教授人数の誤りにより訂正(24) 担当者の職位変更(24)

英語文化コミュニケーション領域	キャリア英語Ⅰ(ハーツック)	2前 2前・後 2後	2		2 3 2				赤松教授退職により変更(26) 学生の学習効果を高める理由により、配当学期を変更(25)
	キャリア英語Ⅱ(ハーツック)	2前・後	2		3				赤松教授退職により変更(26)
	キャリア英語Ⅲ(インターミディエイト)	3・4前・後	2		1	1			
	キャリア英語Ⅳ(インターミディエイト)	3・4前・後	2		1	1			
	キャリア英語Ⅴ(アドバンス)	3・4後 3・4前・後	2		0 1	1			赤松教授退職により変更(26) 学生の学習効果を高める理由により配当学期を変更(26)
	キャリア英語Ⅵ(アドバンス)	3・4前 3・4前・後	2		0 1	1			赤松教授退職により変更(26) 学生の学習効果を高める理由により配当学期を変更(26)
	Extensive Reading上級Ⅰ	3前	2		2			兼 1	
	Extensive Reading上級Ⅱ	3後	2		1			兼 1	
	アドバンスコミュニケーションⅠ	3前	2			3 2		兼 1	教育課程の充実を図るため専任教員を追加(26)
	アドバンスコミュニケーションⅡ	3前	2			2		兼 1	教育課程の充実を図るため担当者を追加(26)
	アドバンスコミュニケーションⅢ	3後	2			1		兼 1	教育課程の充実を図るため担当者を追加(26)
	アドバンスコミュニケーションⅣ	3後	2			1		兼 1	教育課程の充実を図るため担当者を追加(26)
	アドバンスコミュニケーションⅤ	4前	2			1			
	アドバンスコミュニケーションⅥ	4前	2			1			
	アドバンスコミュニケーションⅦ	4後	2			1			
	アドバンスコミュニケーションⅧ	4後	2			1			
Reading (Culture)	2前	2			1 2	1			
Reading (Society)	2後 2前	2			1 2				
Reading (Literature)	2前・後 2前	2			0 1			赤松教授退職により変更(26) 学生の学習効果を高める理由により、開講学期を変更(26) 学生の学習効果を高める理由により配当学期を変更(25)	
Reading (Language)	3前	2			1	1		教育課程の充実を図るため専任教員を追加(26)	
国際理解領域	国際理解教育	2後	2					兼 1	専任教員採用により担当者変更(26)
	国際コミュニケーション論	3前	2		1	1			里見教授退職により変更。 平成25年度中に新たに採用予定。(25)
	国際法	4後	2						
	国際政治学	3後	2			1			専任教員採用により担当者変更(26) 里見教授退職により変更。 平成25年度中に新たに採用予定。(25)
	国際問題論	4前	2		0				
	国際NPO・NGO論	4前	2		0				0 専任教員採用により担当者変更(26)
	社会情報論	3後	2		1	1		兼 1	里見教授退職により変更。 平成25年度中に新たに採用予定。(25)
	環境社会学	3前	2					兼 1	
	環境問題論	3後	2					兼 1	
	異文化共生論	2前	2					兼 1	
	エリアスタディーⅠ(北アメリカ)	2前	2		1				
	エリアスタディーⅡ(中国)	2前	2		1				
	エリアスタディーⅢ(オセアニア)	2後	2		1			兼 1	教育課程の充実を図るため担当者を変更(26)
	エリアスタディーⅣ(インド)	2後	2		1			兼 1	
	エリアスタディーⅤ(ヨーロッパ)	3前	2		1				
	エリアスタディーⅥ(アジア)	3後	2		1				
国際理解特殊講義	2・3前・後	2		2			兼 1	教育課程の充実を図るため担当者を変更(26)	
キャリア支援領域	ビジネス英語Ⅰ	2前	2		1	1			教育課程の充実を図るために専任教員を追加(26) 教育課程の充実を図るために専任准教授に担当者を変更(25) 教育課程の充実を図るために専任教員を追加(26)
	ビジネス英語Ⅱ	2後	2		1	1			教育課程の充実を図るために専任准教授に担当者を変更(25)
	ビジネス中国語Ⅰ	3前	2					兼 1	
	ビジネス中国語Ⅱ	3後	2					兼 1	
	情報特別演習Ⅰ	1後 2後	2					兼 1	学生の学習効果を高める理由により、配当学期を変更(25)
	情報特別演習Ⅱ	2前	2			1			
	中国語情報処理演習	2前	2					兼 1	
	マクロ経済学	1後	2					兼 1	
	ミクロ経済学	2前	2					兼 1	
	人的資源管理論	3後	2					兼 1	
	産業組織心理学	4前	2					兼 1	
	コンテンツ産業論	2後	2					兼 1	
	貿易実務Ⅰ	3前	2			1	1		担当者の職位変更(24)
	貿易実務Ⅱ	3後	2			1	1		担当者の職位変更(24)
	国際ビジネス論	2前	2		1				
	金融システム論	3後	2		1				
グローバルファイナンス	2後	2		1					
グローバルビジネス研究	3・4前・後	2			1	1		0 1 担当者の職位変更(24)	

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 26	科目 139	科目 0	科目 165	科目 26 [0]	科目 140 [1]	科目 0 [0]	科目 166 [1]	海外留学を推奨し単位認定するため「海外語学研修」を新規追加したため1科目増(24)

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成24年2月)	留意事項なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成25年2月8日)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成26年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。